

令和7年度第2回播磨町学校給食審議会 会議録

1 開催日時

令和7年9月16日（火） 午後2時12分～

2 場 所

播磨町役場第二庁舎 3階会議室1

3 参加者

出席委員

会 長 福 本 恭 子

副会長 福 田 吉 成

委 員 山 本 奈緒美

委 員 岩 本 久 代

委 員 大 福 知 里

委 員 穂 原 清 斗

委 員 前 垣 璃 子

事務局

教育委員会教育長 平 郡 秀 幸

教育委員会部長 山 口 智

教育委員会次長 野 村 眞 一

教育総務課課長 松 原 麻祐子

教育総務課学事係長 横 山 かおる

教育総務課主査 小 笠 理 恵

教育総務課学校管理栄養士 上 田 智 世

教育総務課管理栄養士 廣 瀬 千 草

4 審議内容

学校給食費の額の妥当性について

令和7年度第2回播磨町学校給食審議会 会議録

○事務局 それでは、皆様大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。皆様おそろいになられましたので、ただいまから、令和7年度第2回目となる、播磨町学校給食審議会を開会いたします。

開会に当たりまして、学校給食審議会会長から御挨拶賜りたく存じます。よろしくお願ひいたします。

○会長 皆様こんにちは。9月16日で、7月の頃よりは涼しくなっているながら、猛暑で外に出てはいけないぐらいの状況で、このまま秋が来るのかどうかとに気になりながらも過ごしておりますが、本当にもう暑さはうんざりですけれども、今日はよろしくお願ひいたします。

○事務局 ありがとうございます。

本日、配布資料がお手元におそろいということは開会前に確認させていただきましたので、今後の議事の進行については、会長にお任せしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

○会長 はい、よろしくお願ひします。

それでは、次第に従いまして進行させていただきます。

まずは、次第の2、事務局提案の「議事概要の作成の手順について」ということで、事務局からの説明をお願いいたします。

○事務局 それでは、議事概要の作成の手順について御説明いたします。

本審議会におきましては、原則的に議事の概要を公表することとしております。前回7月3日に開催いたしました議事録についても、本来でしたらもう少し早い時期に委員の皆様にご確認いただいた上で播磨町のホームページ上で公表しておくべきではあったのですが、会議録の作成に時間がかかってしまいまして、本日事前確認用の資料を配布させていただいている次第です。今後の流れといたしましては、それぞれの御発言内容について御確認をいただき、修正させていただいたものを最終的にこれから選任いたします議事録署名人に御署名いただいた上で、ホームページ上にて公表させていただきます。なお、公表の際は、今回資料として配布させていただいております赤字部分は削除いたしますので、御了承ください。ですので、前回の審議会の分でしたら、自己紹介の部分や日程調整の際の内容は直接審議の内容とは関係がございませんので、削除した形で公表をいたします。また、どなたが発言された内容かは、内部の議事録としては残しますが、公表時には分からないようにお名前の部分は消し

てホームページに掲載させていただきます。

今回お配りしている議事録は事前確認用としてお渡しいたしますので、誠にお手数ではございますが、御自身の発言内容について御確認いただきまして、後日修正の有無及び修正箇所について御報告いただきたく存じますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。皆様の修正分が出そろった時点で、議事録署名人の方に御署名をいただきまして、議事概要の公表をさせていただきます。

また、本日の審議の内容につきましても、同様に事前確認用の議事録を作成させていただきます、皆様に御確認いただいた後に、議事録署名人の方に御署名いただき、公表いたしますが、今回からはメールにて事務局から委員の皆様宛てに校正前議事録を送付させていただきます、修正箇所をメールで御返信いただく流れにさせていただきますので、どうぞ御了承ください。

また、メールよりも紙面での議事録送付を希望される方がいらっしゃいましたら、後ほど事務局へお声がけください。紙面で校正させていただくことももちろん可能でございます。

議事録署名人については、次の議題としまして次第に記載しておりますが、今御提案しました内容で御承認いただけるようでしたら、「議事録署名人の選任」ということで、どなたかに御就任いただければと考えております。

説明は以上です。よろしく御審議くださいますようお願いいたします。

○会長 はい。説明ありがとうございました。

では、事務局からのただいまの説明を受けまして、何か御質問等おありのある委員の方はいらっしゃいますか。

確認ですけれども、議事録の修正報告書の名前を書くところがありますが、これは、この紙を出したほうがいいですか、それともメール等でもよろしいでしょうか。

○事務局 メールでやり取りさせていただくほうがよろしければ、メールで送らせていただきます。

○会長 この様式を出さなくてもメール上で話ができるということでしょうか。

○事務局 メールで御回答いただいても結構です。

○会長 分かりました。ということになります。何かほかにも御質問等おありのある委員の方はいらっしゃいますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、問題、御質問等がないようでしたら、事務局からの御提案のとおり議事概要の作成の手順を承認してもよろしいでしょうか。決を諮りたいと思います。

事務局の御提案に対して、賛成される方は挙手をお願いいたします。

(委員挙手)

○会長 ありがとうございます。全員賛成ということで、事務局の御提案どおり、議事概要の作成の手順について承認いたします。

続きまして、「議事録署名人の選任について」ということですが、会長と副会長以外のほかの委員の方で、自薦・推薦等でやってもいいという委員の方はいらっしゃいますでしょうか。

〇〇委員、よろしいでしょうか。〇〇委員がお引き受けくださるということで、皆様よろしいでしょうか。

御異議ないようでしたら、挙手をお願いいたします。

(委員挙手)

○会長 ありがとうございます。それでは、御負担をおかけしますが、〇〇委員、議事録署名人としてよろしくをお願いいたします。ありがとうございました。

続きまして、審議事項のほうに移ります。

次第第3、審議事項ということで、前回に引き続いて学校給食費の額の妥当性について、皆様と議論をしていければと思います。

この諮問事項に関する最終的な答申案は次回採決することとしまして、今回は審議会としての答申の方向性を決定するところまで進めたいと考えております。御協力をよろしくお願いいたします。

前回の審議会から日にちがたっておりますので、前回の審議会での議事というところで、事務局が要点整理してござっておりますので、まずは、本日の配布資料についてと併せて、本日の審議内容について事務局から御説明をお願いいたします。

○事務局 それでは、事務局から本日の配布資料及び審議内容について御説明させていただきます。

本日は、前回に引き続きまして、学校給食費の額の妥当性について御審議いただきたいと思います。7月3日の審議会において、令和8年度以降の学校給食費について、現行の学校給食費、小学校1食当たり292円、中学校1食当たり339円の値上げを行うか、そのまま据置きとするかをお話し合いいただき、昨今の物価高騰の状況からするに、現在の給食の質及び量を今後維持していくためにも、値上げは致し方ないという結論に至ったかと存じます。それを受けまして、令和8年度以降の給食費試算パターンを事務局のほうで幾つか御用意させていただきました。御検討いただくに当たり、参考にしていただきたい資料を本日配布させていただいておりますので、まず

はお配りしております資料について御説明させていただきます。

初めに、資料1についてですが、「前回審議会での議事」といたしまして、前回の給食審議会において皆様から頂戴しました御意見を簡単にまとめたものをおつけしております。

内容といたしましては、先ほども申し上げましたとおり、食材費が軒並み価格高騰している状況ではあるが、給食の質は下げてほしくない。そのためには、令和8年度以降の給食費は増額の方角で見直しを行うべきであるという御意見が大半であったかと思えます。

資料2は、令和8年度以降学校給食費増額の方角で、給食費試算パターンを幾つかあげさせていただいております。まず、パターン①からパターン③を御覧ください。これらは、基本的に同じ考え方で3パターンの試算を出してござりまして、給食費を主食費、いわゆる1食当たりの米の価格と、1食当たりの牛乳の価格と、それ以外のおかずでしたりデザートを含めた副食費をそれぞれに分けて計算し、最後に合算する方法で給食費を算定してござります。

まず、米の価格についてですが、本日お配りしております資料3を御覧ください。9月5日付で米の購入先である学校給食・食育支援センターより、このようなお知らせが届いてござりまして、中ほどの波線部分を御覧いただきたいのですが、「令和7年産精米売渡価格は令和6年産精米売渡価格と比較して、約40%の値上がりが見込まれる」とあります。米の価格は近年大きな変動がなく推移してきていたのですが、令和7年に急激に上昇し、今年の新米価格につきましても、さらなる値上がりが見込まれるということです。この食育支援センターからの情報に基づいて米の価格は予測をたててござりまして、小学校で1食当たり55.68円、中学校で1食当たり72.38円と試算してござります。米の価格については、2年後、3年後までの予測ができませんでしたので、3年間取りあえず同額で計上してござります。

次に、牛乳の価格についてですが、牛乳はここ何年もコンスタントに価格上昇を続けてござりまして、令和4年から令和5年の間のように、上げ幅が大きい年もあるのですが、過去5年間の価格の上り幅の平均を取りまして、年間3.31円ずつの上昇を見込み、令和8年度は76.53円、令和9年度は79.84円、令和10年度は83.15円と予想してござります。

次に、副食費の金額ですが、パターン①は令和7年度の計算上の副食費額、パターン②は令和6年度の計算上の副食費額、パターン③は令和5年度の計算上の副食費額をそのまま計上してござります。令和7年度の副食費額が計算上、一番安価になるため、

前回の審議会においても現在の給食の質は維持してほしいという御意見が多数あったと思いますので、パターン①は事務局が想定している値上げ最低ラインということになります。つまり、副食費を現在の水準よりも下落させないいたしますと、最低限でも1食当たり、小学校で22円、中学校で27円の増額は必要であると事務局では考えています。パターン②③は、パターン①よりも副食費が高くなりますので、それに伴って給食費が高くなっていますが、内訳の米の価格と牛乳の価格は、パターン①と全く同じ金額に設定しています。

1枚めくっていただきまして、パターン④は、パターン①から③とは全く異なる考え方をしております、令和3年から令和7年までの近畿地方食料物価指数の推移を基に、令和8年以降の食料物価指数の予測をたて、その物価上昇率1.216を現行の小学校・中学校の給食費292円、339円にそれぞれかけて計算した金額となります。ですので、米の価格が幾ら、牛乳の価格が幾らという内訳までは算出していない計算方法となります。

次にもう1枚めくっていただいて、パターン⑤は、前回〇〇委員が御提案してくださった、子どもたちの思い出に残るような特別メニューを設定した場合での試算となります。ベースは、パターン①をそのまま使用しております、そこにいつもより少し豪華な特別メニューを展開したときに上乘せとなる金額を加算し、試算した金額となります。特別メニューは例えばですが、「肉じゃが」で通常は豚肉を使用しているところを、牛肉に置き換えた場合、デザートで通常提供している安価なゼリーから普段なかなか提供できないような高額なケーキに置き換えた場合の価格を加算した結果となります。現在でも行事食として、こどもの日献立・七夕献立・クリスマス献立などの特別メニューを提供しておりますが、そのメニューを少し豪華にしたり、子どもたちが普段の給食でなかなか口にすることができない食材を提供できる機会を2か月に1回程度、もしくは学期ごとに1回程度持つことができればということで、さらに2パターンの試算をここで行いました。増額分を、給食費1食当たりの単価に溶け込ませているのが赤字で記載している部分になります。

次に資料4は、資料2でお示しいたしました幾つかのパターンについて、年間で給食費が幾らぐらい増額になるのかを計算した資料になります。小学校で年間おおむね196食、中学校でおおむね165食、一人の子どもに対して給食を提供しております、これも学年や行事によっては、必ずしもこの食数にはならないのですが、目安としてお考えいただき、参考としていただけましたらと思います。

以上、事務局よりパターン①からパターン⑤まで、パターン⑤については、2種類

の案を御提示させていただきました。事務局にて作成しました、合計6つの案から本日一番妥当と考えられるものを採決いただければと考えております。

以上で、審議内容の説明及び本日配布資料の説明を終わります。よろしく御審議くださいますようお願いいたします。

○会長 説明、ありがとうございました。

まずは、事務局に御用意いただきました、この資料1から資料4につきまして、委員の皆様にお目通しいただくお時間を設けたいと思っております。5分から10分ぐらいですかね。お時間を今から取りたいと思いますので、そこで御確認いただきまして、質問等の御提示をあとでお願いさせてもらおうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

そうしましたら、約10分ぐらい、よろしくお願い致します。

お時間をいただきます。

(資料確認)

○会長 それでは、審議続きでよろしいでしょうか。採決にも関係することなので、事務局が作成したこの改定額の案それぞれにつきまして、何かしらの御意見とか御感想とか御発言をお願いしたいと思っております。今の段階の御意見では、特にこの案がいいとかいうのが今のところなければそれでも構いませんので、最終的な決を出さないといけませんですけども、お聞かせいただきたいと思っております。またお一人ずつご意見をいただきたいと思ってるんですけど、時計回りでよろしいですか。

○副会長 はい。

○会長 いいですか、時計回りで。では副会長からよろしくお願い致します。

○副会長 物価指数が年々上がってきているので、給食費は上げないと仕方がないと思っております。物価指数の上昇を見ていくと、3年ごとぐらいに検討していかざるを得ないと思っております。ある程度物価指数が落ち着いてくれば、もう少し長いスパンで見たいと思っておりますが、令和2年から令和7年の間で、令和2年の100.1を基準に、今123.9というように上がってきている。これからもさらに上がっていくのではないかとというのが予想されるので、3年ごとに検討していくのが良いと思う。ただ、金額的に幾らが妥当かと言われると、非常に難しいと思っております。極力各家庭には負担をかけたくないと思っておりますが、最低でもパターン①の表にあるように、小学校でプラス22円、中学校でプラス27円は仕方がないと思っております。さらに、もう少しメニューを充実させるのであれば、もう少し上げざるを得ないと思っております。

○会長 ありがとうございます。○○委員、お願いできますか。

○委員 はい、失礼します。今、〇〇委員が言われたように、やっぱり上げざるを得ないなというのは思っているところです。ただ、どれだけ上げたらいいのかなということで、パターンをずっと見ました中に、最低ラインがパターン①であったとして、パターン③のところを令和5年度を基準としたところがあると思うのですけれども、この令和5年度っていうのは、お金を上げたばかりのところ、たくさん充実したこともあったけれど、子どもたちの食から考えると残食も多かったというところがあったかなと思うのです。それで今、中学校のほうの実情も聞かせてもらっていると、食べる子はすごく食べるけれど、やはり依然として食べないな、残食になってしまうっていう子のことを考えると、充実させたのに子どもたちはあんまり食べないということでは、本当に無駄になってしまうのかなと。それで「食べる食べる」という教育では今はなくなってきているので、自分たちの体の成長に合わせて食べるということ、食を楽しむということを見ると、どこまでの充実を私たちは考えなければいけないのかなということに、自分の中でも迷いがあったりもします。となってくると、最低ラインのパターン①のところを目安にしながら、今後の物価の上昇というところも考えて、3年ごとぐらいに値段を変えることを前提として、「今回値段を上げますよ」というところを周知するのがいいのかなと思ったりはしました。あと、前回の要点整理の一番最後のところに、公費についての記載がありましたが、播磨町として何かその対策があるのかなというところは、ちょっとお聞かせいただきたいところです。例えば、私は行事食がとても大事だと思っているので、子どもたちにその節目節目で季節に応じた食材のことを学ばせたかったり、季節に合わせた食を給食で提供したりすると、やっぱりご家庭まで影響があるかなと思っているので、そういう特別食のところでは行政のほうから何かちょっと、ここには支援が入ってますよっていうようなことの提案ができたらということも思ったので。パターン①を中心としながら行事食のところについては、年何回か、年3回または6回のところで行政からの支援が入ってくるとということも考えていただければいいのかなというふうに、私自身、一個人としては思いました。以上です。

○会長 ありがとうございます。じゃあ、〇〇委員お願いします。

○委員 失礼します。先生方がおっしゃったようなところ、資料3の来年度にお米が40%値上げっていうのも考えると、やっぱり牛乳とお米の分ぐらいは値上げしていただくと、副食費のところでもいろんなものが出せるというのはありがたいなとは思っています。それで、このパターン③について、〇〇委員がおっしゃったのですが、これは多分副食費が結構高かった年だと思うので、ここまでは上げなくてもいい

いんじゃないのかなと個人的には思いました。あと、パターン⑤でデザートのお話が出てきたのですけれども、デザートって今でも給食で結構提供していて、大きければ大きいほうがいいというわけでもなく、大きかったらデザートを食べ、それ以外のものを食べなかつたりするので、量とかいろいろ考えたときに、それがいいっていうので、そのサイズとか量とかを決めてるので、増やせばいいという問題でもないような気がするので、そこは値上げをする点でちょっと考えないといけないなと思いました。

○会長 デザートは大体何かしらついてるのですね。

○委員 何かしらは、やっぱり週2回とかつきます。行事のときは結構それにあつたデザートを提供するようにはしているの。

○会長 副食にしわ寄せがいくつというわけでもない感じなんですかね、今。

○委員 そうですね。多分、令和6年度、7年度で副食費を令和5年に比べて抑えてるのは、そこまで影響がなかったのではないかと思います。

○会長 ああ、そうなんですね。

○委員 はい。終わります。

○会長 はい、ありがとうございます。

○委員 クリスマスケーキがなくなりましたね。

○委員 クリスマスのケーキがなくなったのはまた別の理由で。稲美町の業者さんがシュークリームを提供してくださってるので、その代わりにケーキがなくなっています。

○会長 少し支援があるってことですか。

○委員 そうですね。なので、ケーキがなくなっただけで。

○委員 子どもたちが「ケーキがなくなった」って学校でも大騒ぎ。でも、「シュークリーム好きだし」とか。

○会長 そういう事情があるんですね。

○委員 サイズ感とかいいかもしれないけど、それぐらいで。今日はぶどうのゼリーでしたから。ちょうどいいぐらいのサイズでした。

○委員 ほかのものを食べてもらうことを考えると。

○会長 そうですね。

○委員 今までの大きさ・量がいいのではないかなと思います。

○委員 つるんと一口、冷たいものが本当にうれしい。

○委員 そうですね、夏はね。

○会長 ありがとうございます。○○委員からいきましようかね。お願いします。

○委員 お願いします。お米も牛乳もみんな上がってる中なんで、年間で上がってる額とかも見て、試算されてる金額も一番安くて今より年4, 290円高くなる。保護者の立場から別に4, 290円ぐらいやったら、ひと月にしたら何百円っていう数字になるので、それは現状を考えると仕方ないかなと思って。パターン⑤の特別メニューの年6回出したパターンと年3回出したパターン、金額表示されてると思うんですけども、年3回出してるのと年6回出してる分とで2円ぐらいしか変わってない。もうちょっと金額変わるのかなと思ってたんですけど、そんなに変わらないんだったら、子どもからしたら、そういう特別メニューはちょっと多いほうが楽しいのかなと思うので、それぐらいの金額で納められるなら年6回検討してもいいのかなっていうふうに思いました。

○会長 ありがとうございます。○○委員、お願いします。

○委員 はい、お願いいたします。私も保護者目線からいくと、一番値上がり率の低いパターン①がいいですけど、ただもう令和7年と比較するだけではやっぱりもう追いつかないのかなというのも正直なところありますし、もう今後どんどん物価上昇が予想されるであろうというこのパターン④では、令和10年で142.5という物価指数が出ているのでちょっと恐ろしい金額なんですけど、それぐらい見据えての価格設定も必要になってくるのかなと思ったり。となると、前回上げた令和5年以上に上がることになります。すごい値上げ率だなと。すごい判断が難しいんですけど、それだったら前回3年前に値上げで令和5年で上げた、令和5年を基に、パターン③が、間を取っていいのかなとか思うんですけど。難しいところだと思うんですけど。

○会長 そうですね。

○委員 現場の先生方、やっぱり残食は多いのですか。うちの子は、いつも絶対完食するので。クラスも「おかわり要る人」って言って、いつも残らないって言うのですよ、うちの子のクラスは。やっぱり残食多いのですかね。

○副会長 残食については、クラスにより違います。

○委員 子どもたちの雰囲気、先生方の声かけ1つで変わってくるのですけれど。

○委員 そうですね。

○委員 例えば、その前後の体の疲れ具合とかによって、ちょっと酔いの物が残りがちなクラスもあったり。

○委員 はい。

- 委員 それをすごく楽しみにしてる子もいるのだけど、やっぱり普段の生活の中で食べてるようなものはよく売れます。
- 委員 そうですよ。
- 委員 ですが、これ初めてだねっていうものは、なかなかこっちがうまい声かけがないと。「食べてみたらおいしかったわ」っていうのはすごくあるので、そこを先生方がどれだけ意識してくれるかなと思って。大分、栄養教諭も各学級回りながら声かけしてるのですけれど、その辺りやっぱり、残ったものを合計するとね。もう塵も積もれば最後に集まってくると。やたら牛乳が残っているというところもあるし、季節によっても変わってきますからね。
- 会長 はい。
- 委員 ただこれ以上量を増やすと、もっともって残食が極端に増えてくるかなっていう心配もあったり。
- 委員 牛乳は今1パックあれですよ、ストローを差す200ミリリットルパック。
- 委員 はい、200ミリリットル。
- 委員 飲みきれない子もいれば飲む子もいる。牛乳パックにしてコップに入るとかは駄目なのですかね。
- 委員 オーケーです。
- 委員 面倒くさいですかね。オーケーなんですか。
- 委員 大丈夫です、オーケーです。
- 委員 クラスで牛乳を分けるといえるのはできるんですか。
- 会長 ああ、1リットルの大きいのか、こんなのを3本とか。
- 委員 牛乳を分けて入れるときにこぼす可能性があり、もしこぼしてしまうと大変なことになってしまいます。
- 委員 私が子どもときでもパックとか瓶なので、そんなのはできないと思うんですけど。保育園とか幼稚園やったらあると思うんですけど。
- 会長 割高かもしれないですね。
- 委員 そう、一人分のパックより1本のほうが一人当たりは安いのかなって思いました。
- 委員 自然学校なんかでね、淡路のほうに行ったら、ちゃんと冷蔵庫があって、皆そこから自分の分をついで、食べてしてるので、本当に無駄がないと思うんですよ。

○委員 そう。だから、飲めない子は少しにしてとかにしたら、少し牛乳の費用が抑えられるけど、大変ですか。

○委員 中学の○○委員言われてましたけど、多分小学校1年生ではえらいことになる。

○委員 先生泣かせやと思う。

○委員 でも、無駄はないとは思いますが、すごく。

○委員 そう思います。はい、ありがとうございます。

○委員 でも多分栄養価的には、全員に一緒のものを提供しないと駄目なので。

○会長 駄目なんですね、それは。

○委員 お金的にも。

○会長 ああ。

○委員 配膳された状態で、一人一人の量に差があるのは良くないと思います。

○委員 多い少ないはちょっと。1人1パックでないと。

○会長 でも、分かる気がします。気持ちはよく分かる。逆に飲み過ぎて、足りないっていうのがあるかもしれないですからね。ありがとうございます。

○○委員、お願いします。

○委員 皆さんの意見を聞きながら、すいません、デザートの方も入れていただいてありがとうございます。資料3の方でやっぱりすごい値上がりしてるんだなという感じはしました。年間の分を見ると、「あ、これだけ上がってるのか」と思うと、できたら保護者目線でいうと、パターン①のほうがありがたいのかなというところで。デザートを入れても、毎月ですかね、値上がり幅をそんなに感じないので、パターン⑤-Ⅱとかでしたら、パターン①と比べても年間でプラス500円ぐらいなので、そこをちょっと視野に入れてもらいながら。クリスマスメニューの稲美町からのシュークリームっていうのを初めて聞いたので。この3つのうちの1つを例えば播磨町さんとか、ちょっと公費のほうを組んでもらったら、少しは上り幅も狭くなるのかな、プラスでちょっと支援を入れてもらうっていうのも視野に入れてもらったらありがたいなと思いました。

○会長 ありがとうございます。

○委員 今回、産業環境課のほうから、何かこの9月に入れていただけるんですよね。

○事務局 干しだこ。

○委員 干しだこです。ちょっとPRしなきゃいけないね。

○委員　　そうですね。頑張ります。

○会長　　ありがとうございます。皆様の意見を伺っていると、やっぱりお米とかね、こんなに上がるなんてって感じはしますけども、値上げはもう致し方ない。でもやっぱり、できるだけ給食費は抑えてほしいっていうような話がありましたけども。その中でも公費の話について少しお問合せがあったかと思うので、事務局のほうから公費についての今分かってるところでも構いませんので、御説明お願いできますでしょうか。

○事務局　　公費負担の話ですね。この現在の播磨町の給食費の状況、設定の金額であったり、保護者負担額の金額、グラフにしてるような表がありますけれども、それについては、町長とも共有しているという状況です。ただ、この審議会の場ではあくまでその設定金額というところで、この場で公費負担がここまでできますとか、そういった確約というのは申し上げられないので、あくまでこの場では保護者が出すということを前提の上で御協議はいただきたいということです。ただ、前の6月議会の一般質問でも、検討するというような前向きな返事はいただいていますので、今後、この審議で上り幅が決まれば、それをもってまた、我々のほうは予算協議に入っていくという中で、町全体の予算の中でどういった財政との協議というか、どういった支援ができるかというところを考えていくという形になるのかなというところですね。もちろん、産業環境課から今回は干しだこだったり、また来月は赤米クッキーとか、いろんな食材も検討いただいているところも、もっとそういう地産地消というところを進めていくというところでは、拡充っていうところもお願いしたいなとは思っています。また、今後の予算のそういう、それは産業振興ですけど、いろんな農業振興とかの関係で、またその給食費保護者負担以外のところからの、こういった支援というところも、町全体として考えていくような方向性には、ちょっと具体的にはまだ言えないんですけど、そのような方向性にはなっているということだけはお伝えできればなという、今の時点では、そういったところの検討は進んでいるということです。

○会長　　ありがとうございます。そこの負担のところ、少しいろんなところからの支援があるのであれば、この値上げを極力最低に近いようなことをすれば、何とかいけるのではないかと少し期待ができそうなところではありますけれども、皆様の意見を伺っていますと、やっぱりこのパターン①の値上げ最低ラインで、牛乳とお米っていうところがどうしても上がってくるっていうところがあって、ここを上げざるを得ないのはもうこれは致し方ない。その次の段階として、この②とか③のあたりもあって、委員の先生からもパターン③だとちょっと逆に無駄になったりとかすること

もあったというような意見がありましたので、②というところも、①プラスアルファで。3年後とか、そういうような期間を空けて、また値上げについて検討していかないといけないんじゃないかなというような意見もありましたね。

デザートについては、デザートだけをこのパターン⑤で上げていただいておりますけども、栄養教諭の先生からは、大体つけてらっしゃるということなので、むしろそれをすごく豪華なものしたら、そっちを食べてしまって、本来食べられるもの、食べてもらわないといけないものを食べてくれないというようなことも考えると、あまりそこにすごく集中、集約しなくてもいいのかなっていう感じはしました。また、この1食当たりの単価を、この資料4で見ると、このパターン⑤-1とか⑤-2は、1食当たりの単価でいくと、319円とか317円ということで、通常の現行にプラスそのデザートをプラスアルファして、平均値を出したのがこのパターン⑤のようです。で、全体を底上げしてるっていうのがパターン①とかパターン②っていうことになるそうなんですけども、パターン⑤は金額からいくと、パターン①と②の間あたりにいるというようなことなのかなという気がいたしました。皆様のいろんな意見をお聞きすると、できるだけこの①に、①プラスアルファで②あたり、①②あたり。③まではちょっとっていうような感じに、私はそのような印象を受けたんですけども、ほかに何か追加で御意見おありのある委員の方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。何かありますか。食べられてて、先生とか。

○副会長 パターン①では厳しいのではないかという考えになってきました。要するに、令和8年から3年間は維持しなければならないので、パターン①では厳しいと思います。

○会長 ちょっとしんどいですね。

○委員 この令和7年って、何月から何月までの分が入ってるんですか。令和7年の179円は、今のお米と牛乳の価格からして、これぐらいの値段ってことですか。

○事務局 お米1キロ当たりで価格が決まっていて、それで購入されてるんだと思うんですけど、それを小学校の給食で提供している量で割り戻して39.77円。それと牛乳は1本当たりの価格が決まってると思いますので、それを1食当たりの小学校の給食費292円から差し引いた残りの額が副食費ということで、179.01円。

○委員 なるほど、はい。

○事務局 これはちょっと無理やり計算上出してる副食費の額になるので、毎日この金額で副食を提供してるわけではないとは思いますが、メニューによってやっぱ

り多少上下はしてるんだと思うんですけど、大体平均取ると一日当たりこれぐらいか
なっていることで、計算上出してる金額になります。これが令和7年はこの金額にな
るといことです。

○委員 ちなみに令和6年は小学校の292円から給食費はオーバーしてたんで
すか、192円。1食292円で食材費の支払いができていたんですか。

○事務局 できてましたよね、できてましたね。

○委員 令和5年はできてなかったんですか。

○事務局 令和5年もできてました。

○委員 令和6年はもう余裕があったんですか。もうちょっと。

○事務局 そんなすごく余裕があるわけではなかったと思うんですけど。

○事務局 予算上支払えてるのと1食当たりの単価、実際にかかったお金は実は
違う。支払い的にはできているけど、単価は毎月、請求金額してもらってる人数で割
ってるじゃないですか。

○委員 はい。

○事務局 そこそこ厳しい金額が見えてると思うんですけど。見てくださってま
すよね。決して余裕があるわけではないです。

○事務局 令和7年の途中から新米に変わりますので、今後の7年度の後半は、
ちょっと厳しくなる可能性が高い。7年度の途中から、どうしても切り替わることに
なりますので。

○委員 お米って、年間で契約して支払ってるわけではないのですか。

○事務局 年間では契約はしてるんです。ただ、新米が出たときに切り替わるみ
たいな形になるので。

○事務局 これぐらい要りますよという使用量で予約はしています。だから、その
分は確保してもらっています。新米への切替えは、その予定している量がなくなって
きたら新米に切り替わるので、時期は町が予約しているお米が足りなければ早い時期
に切り替わっちゃうし、余ってくると遅い時期に切り替わるのですけれども、年度末
まで使えるかというところではないので。大体12月ぐらいです、新米へ切り替わる
のは。

○会長 何か、御意見とかおありのある方いらっしゃいますか。ある程度、いろ
いろと皆様の意見を聞いた上で、この辺りのパターンがいいかなというようなことを、
ちょっとまた決めさせてもらおうかなと思ってるんですけども、いかがですか。具
体的にパターンを言ってもらったほうがいいですかね。先生は①じゃなくて、②ぐら

い。

○副会長 ②か③が妥当だと思います。実際問題、米が上がって、牛乳も上がっている。これから物価も上がっていくと思われるので、副食費の食材費も上がっていくと思う。今回給食費を上げなかったら、あと3年間は上げることができなくなる。そうすると、材料費等が上がるので、結果的に給食のメニューが寂しいものになってしまう。

最近、いろいろ買い物に行くと、値段が一緒だったら量はどんどん少なくなるし、量が同じであれば値段がどんどん上がっている。そう考えると、今の給食のメニューを維持することができないのではと思います。

○会長 パターン③も、当時は無駄だったけど、もしかしたらそんなことないかもしれないですもんね。〇〇委員、どうですか、お願いします。

○委員 本当全体の意見聞いてると、やはり①では難しいのかなと思っています。副会長の言うとおりに。というか大分多いですよ、③は。③が一番多いなというところの説明責任として、いろんな方たちに説明するときに、3年後見込んでという話をしにくいかなと思ったりもします。

○会長 前のときもこれぐらい上げてたら大丈夫だろうと思ったけど、あかんかった。前のときの審議のときも、上げましたけど、こんなに物価が上がるって思ってなかったの、ちょっとびっくりしましたけどね。しばらくはそのままでいけると思ってたけど駄目でしたね。

○委員 予想外というかね。牛乳やお米がこんなに上がるなんて思ってなかった。

○会長 ねえ。本当にちょっと下がる気がしないって感じがね。お米でも上がったって感じでもんね。

○委員 お米も作る量を増やしてる、年間国全体としては増やす傾向が。

○会長 まあ、言ってますね。ありますね。〇〇委員、どうですか。

○委員 いや、でもその全てが保護者の方の負担になることを考えると、上げ過ぎるのはと思うので。

○会長 やっぱり、上げたら期待しますものね。それだけ。

○委員 そうですね。

○会長 給食に対しての、いろいろ。

○委員 そうですね。前回上げたときは、前よりも1品増えたから。その分上がっても、保護者の方々からの理解は得やすかったのじゃないかな。物価高騰なのは皆さん御存じなので、上げても「まあそうだろうね」とはなるのですが、上げ過ぎる

とまた、ちょっとそこは心配です。高いにこしたことはないのですが。

○会長 具体的なパターンとか、どの辺りですか。難しいところではありますけど。

○委員 そうですね。②ぐらい。

○会長 ②ぐらいかな。

○委員 ②ぐらいが。

○会長 それも分かるね。ありがとうございます。保護者側の〇〇委員。お金払う側のほうはどうですかね。

○委員 ③だと厳しいですよ。

○会長 ③はね。

○委員 ちょっと厳しい。払えなくはないですけど、やっぱり。

○会長 でもちょっとね、怖いよね。もう、これが最後じゃないですもんね。何かもう、先が分からないですもんね。

○委員 ②が。

○会長 ②ぐらい。もうやむなく、ですよ。本当に難しい。〇〇委員、いかがですか。

○委員 最初はもう、「間取って③ぐらいで」と言ったのですが、結構上がりますね。

○会長 結構ね。

○委員 仕方ないかな、③以内で。

○会長 ③以内で。〇〇委員はいかがですか。

○委員 そのお話聞くと、②か③なのかなというところですが、どうなんでしょう。

○会長 本当、何かね。うーん。どちらかという②か③あたりっていう感じですかね。皆様の意見聞くと、で、②に近い③って感じですかね。2つ、②か③あたりかなっていうところで、今の感じでいくと、その辺りかなと思うんですけども。もうそろそろ採決を取らないといけないので、②か③あたりで採決させてもらってもよろしいですか。なかなか難しいんですけど。

○委員 要は行事食的なものの、プラス何円か。

○委員 でも多分、その②に、今だったら、産業環境課の方からの支援で、もうちょっとプラスでいただいていると思うので。そこは多分、地産地消的なところ。

○会長 そこをプラスアルファ考えると、②ぐらいでも何とかですかね。そのプ

ラス③に近いような部分が、ほかでの支援とかが何か見込めそうとか。

少し確認なのですが、主食って毎食御飯ですか、パンのときもあるんですか。

○事務局 パンの日もあります。

○会長 なら、パンは、この副食費のほうに入るんですかね。

○事務局 いや、パンも主食費ではあるんですが。

○会長 主食の米側に入って。

○事務局 今は、お米の価格と提供するパンの価格を比較したときに、パンのほうが圧倒的に高くて。なので、提供する回数も米飯食のほうが多いので、お米の価格だけでここは比較してしまってる形にはなるんですけど、今回この米の値上がりを加算した場合と、今のパンの価格を比較したら、そんなに変わらない感じになってきて、パンの価格に御飯が近づいたみたいな感じになってます。

○会長 ああ、そうなんや。

○事務局 パンは、焼き賃とかも含まれてきますので。

○会長 パンも上がって行って。

○事務局 お米は自前で炊いてるんですけども、パンは焼いたものを業者さんに納品していただいているので。

○会長 はい。

○事務局 どうしてもパン1つの単価と御飯1食分の単価を比較すると、今ではパンのほうが高くはなります。

○会長 そうなんですね。

○事務局 これがもう、今回の米の値上がりで、そんなに差がなくなってきました。

○会長 パンにしようが米にしようがということやね。

○事務局 はい。

○会長 そうということね。分かりました。そういう事情があったのですね。

○事務局 現行のパンの価格でいうと、パン1個当たり、普通のパンの場合ですけども、小学校で65円、中学校で69円ぐらい。

○委員 立派やもんな。

○事務局 税込みの価格でそれぐらいになってます。

○会長 ありがとうございます。②か③あたりでの採決をさせてもらってよろしいですか。

○委員 私たちが決めても。誰にも言うたら駄目です。

○会長 いろいろなところでの支援があるかもしれないとか、あるいは公費についてもまだ分からないですけれども、考える余地があるであるとか、その辺もまだ分からない部分があるんですけれども、そこら辺も少し視野に入れながらの感じですかね。

②と③で、どちらかでお諮りしたいと思います。

手を挙げていただけますでしょうか。では最初にパターン②で採決することに賛成の方は挙手をお願いできますか。②です。

(3名挙手)

○会長 保護者、やっぱりそれはそうですね。

では、③という方は。

(3名挙手)

○会長 ちょうど中間になりましたけど、どういたしましょう。

○事務局 それはもう、最終、会長がどちらか。

○会長 いや、私はどちらかという、保護者側にならんとあかんかなって感じがするので、そうなりますと、②が4人と③が3人ということで、これで終わりの金額じゃないので、ちょっと不安はすごくあるんですけれども、③はかなり金額が大きくなっている感じがするので、②ということが、賛成多数じゃないんですけれども、②が4名の方、それから③が3名の方ということで、僅差ですけれども、パターン②ということで、させていただきます。

それでは、本日の採決の結果及び審議の間に頂戴しました委員の皆様の御意見を集約しまして、次回の審議会において事務局から「学校給食費の妥当性について」答申書をお示しいただきたいと思います。

次回審議会での採決に向けて、事務局のほうで答申書の作成をお願いいたします。

本日はほかに審議事項がございますでしょうか。この後の審議事項などについて、事務局からの御説明をお願いいたします。

○事務局 会長、ありがとうございました。

本日予定しておりました審議事項は、以上となります。皆様の御協力もあり、円滑に審議が進みましたこと、お礼申し上げます。

次回審議会は、本日の採決及び委員の皆様から頂戴いたしました御意見を基に、事務局において答申書案を作成いたしますので、その内容や文言等が今まで御審議いただいた内容と相違ないか御確認いただき、採決の後、審議会としての答申を教育委員会に対して行うという最終工程になります。

また、今回は新たな議題といたしまして、播磨町学校給食基本方針（仮称）について策定をするかどうか、策定する場合は、どのような内容にするかを御審議いただく予定です。ピンク色のフラットファイルの一番最後に、兵庫県内の市町で学校給食基本方針に類するものを策定している市長様より、サンプルを御提供いただきまして、参考に綴じさせていただいておりますので、次回の審議会までに「こういうものかな」というイメージをつかんでおいていただけますと幸いです。

次に、次第4「その他」といたしまして、次回の審議会の開催日程について、本日決定してしまえたらと思っておりますがいかがでしょうか。大体の開催時期の目安としては、11月から12月上旬頃の開催を希望しておりますが、いかがでしょうか。

（日程調整については省略）

○事務局 では、11月25日火曜日の、お時間14時からということで、場所はまた、改めてお知らせさせていただきます。

事務局からは以上となりますが、委員の皆様から、何かございますでしょうか。

最初に御説明させていただいた会議録のことでも結構です。御理解いただけましたか。

それでは、本日の審議会はこれで閉会とさせていただきます。

閉会に当たりまして、会長から一言御挨拶くださいますよう、お願いいたします。

○会長 はい。今日は、いろいろと悩むところ、なかなか決断するのに難しいところであったと思いますが、御協力いただきまして、何とか審議が進みましたこと、ありがとうございます。また、次回以降、また審議会が続きますので、どうぞよろしく願いいたします。

今日はお忙しいところ、ありがとうございました。

○事務局 ありがとうございます。

では、会長に閉会の御挨拶をいただいた後ではございますが、教育長の平郡より、改めまして本審議会の委員の皆様へ一言お礼申し上げます。

○教育長 はい。どうもありがとうございました。僕、結構な歳になってきましたが、毎日夜はお酒を飲んでます。でもこの歳になっても、口癖のように、「今日のご飯何？」って聞いてます。歳取ってきたから、「もう何でもあるものでええで」というような会話もありますけど、やっぱり子どもたちは、これからの社会、日本を背負っていってもらわないといけませんので、学校給食にも7つの目標があって、とに

かくいいものを食べて栄養摂取して、健康の保持増進に努めるというのが一番目に書かれてあります。そういう意味では、今日は本当に値上げ幅があると、非常に難しいところやと思いますけど、やっぱり子どものこれからの成長を考えると、もう目をつぶっていただかないといけないところも保護者の方にもありますし、また令和6年並みの副食費ということになると、今よりも少し中身がよくなったり、少し切り身が大きくなったりというのがあるのかも分かりませんが。その辺のところは、実は私、今度の会議にはここにはおりませんので。御存じのように、私、もうあと10日ほどでこの職を退きますので、この後どうなったかというのは孫に聞きたいと思います。

本当にお忙しい中、貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございます。これも子どもたちのためということでございます。特に保護者の方、本当にお勤め御苦労さまです。また11月、どうぞよろしく願いいたします。

どうもありがとうございました。

○会長 ありがとうございました。

○事務局 ありがとうございました。

(閉会 午後3時35分)